

2016年7月27日

物件選びのポイントとその後の住み心地は？子供のいる家庭といない家庭で調査

by [マンションサプリ](#) 編集部

物件を選ぶ際、どのような基準で判断しますか？そのポイントは個々のライフスタイルに大きく関わっていると言えます。ライフスタイルといっても様々ですが、今回はアンケート調査をもとに、子供がいる世帯と子供がいない世帯で「物件選びのポイント」と「居住後の気づき」について比較しました。

□調査概要

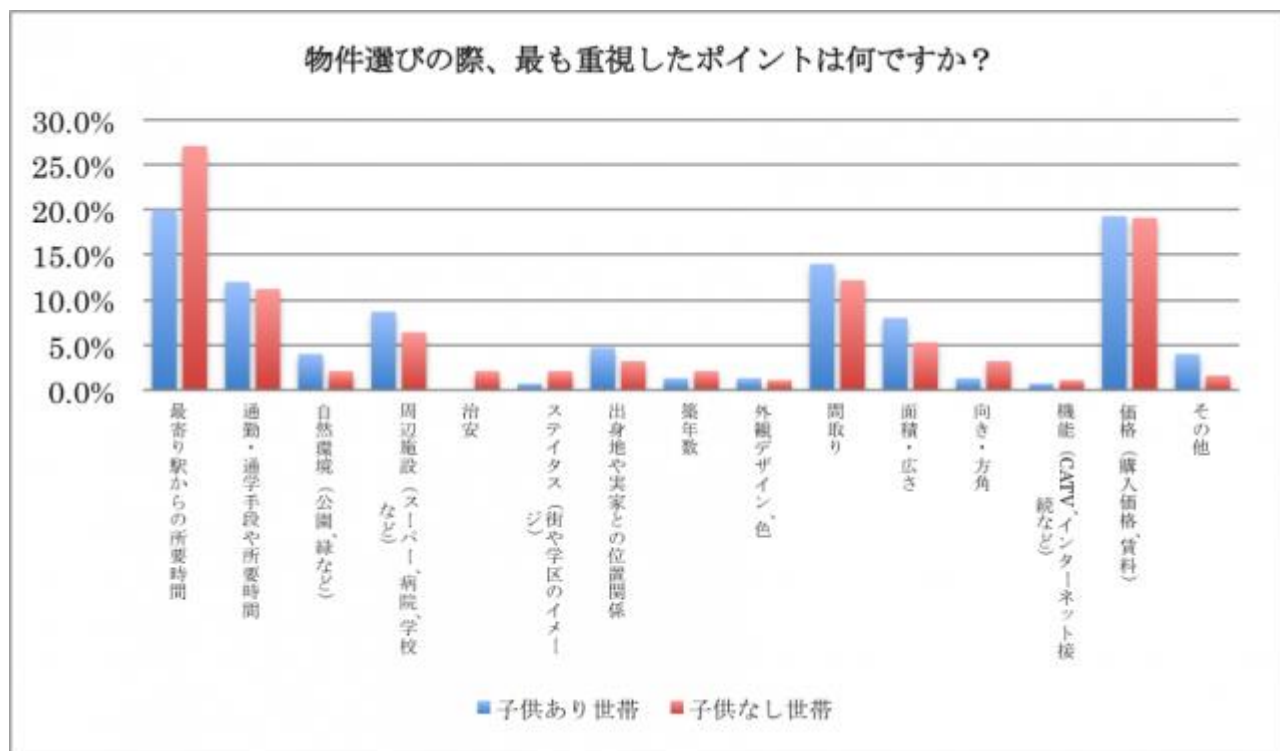
【調査実施期間】2016年7月10日～2016年7月13日

【調査対象者】既婚の男女

【調査方法】インターネット調査

【有効回答数】338人

Q1「物件選びの際、最も重視したポイントは何ですか？」



物件選びの際、最も重視したポイントの調査結果

◆子供あり世帯ランキング TOP5

第1位 最寄り駅からの所要時間（20.0%）

第2位 価格（19.3%）

第3位 間取り（14.0%）

第4位 通勤・通学手段や所要時間（12.0%）

第5位 周辺施設 (8.7%)

◆子供なし世帯ランキング TOP5

第1位 最寄り駅からの所要時間 (27.1%)

第2位 価格 (19.1%)

第3位 間取り (12.2%)

第4位 通勤・通学手段や所要時間 (11.2%)

第5位 周辺施設 (6.4%)

<子供あり世帯の回答例>

・最寄り駅からの所要時間

「便利に暮らせることが一番だと思っている。(53歳女性)」

「徒歩圏内に区役所、小児科のある総合病院、スーパー、公園や児童施設、銀行があり移動手段に何も使わず便利だったから。(37歳女性)」

・価格

「とりあえず予算内でないと購入できないから。(44歳女性)」

「少しでも安いほうがよい。(45歳女性)」

・間取り

「家族構成と生活スタイルに合った間取りでないと快適に生活できないため。(58歳男性)」

「家族が増える予定があり探していた所、双子とわかり急遽、大規模な変更が必要になりました。(53歳男性)」

・通勤・通学手段や所要時間

「子供の入学に合わせ、通いたい学校から通える場所。(38歳女性)」

「子供が小さく、保育園に預ける必要があったため、妻・私の職場からの所要時間を短くする必要があった。(45歳男性)」

・周辺施設

「毎日生活する上で便利なところが良かったから。(59歳女性)」

「住みやすい環境であるか重視した。(56歳女性)」 「子供の通学の観点から。(50歳女性)」

<子供なし世帯の回答例>

・最寄り駅からの所要時間

「通勤や出かける際の利便性。(55歳女性)」

「近いと通勤に便利だから。(35歳女性)」

・価格

「出せるお金には限度があるから。(41歳男性)」

「収入とのバランス。(39歳男性)」

・間取り

「持っている家具をつかえるかどうか。(39歳男性)」

「住み心地に直結することだから。(49歳女性)」

・通勤・通学手段や所要時間

「自分の時間の確保のため。(41歳男性)」

「遅くなっても歩いて通えるところが良かった。(32歳女性)」

・周辺施設

「買い物の利便性は絶対に必要だから。(47歳女性)」

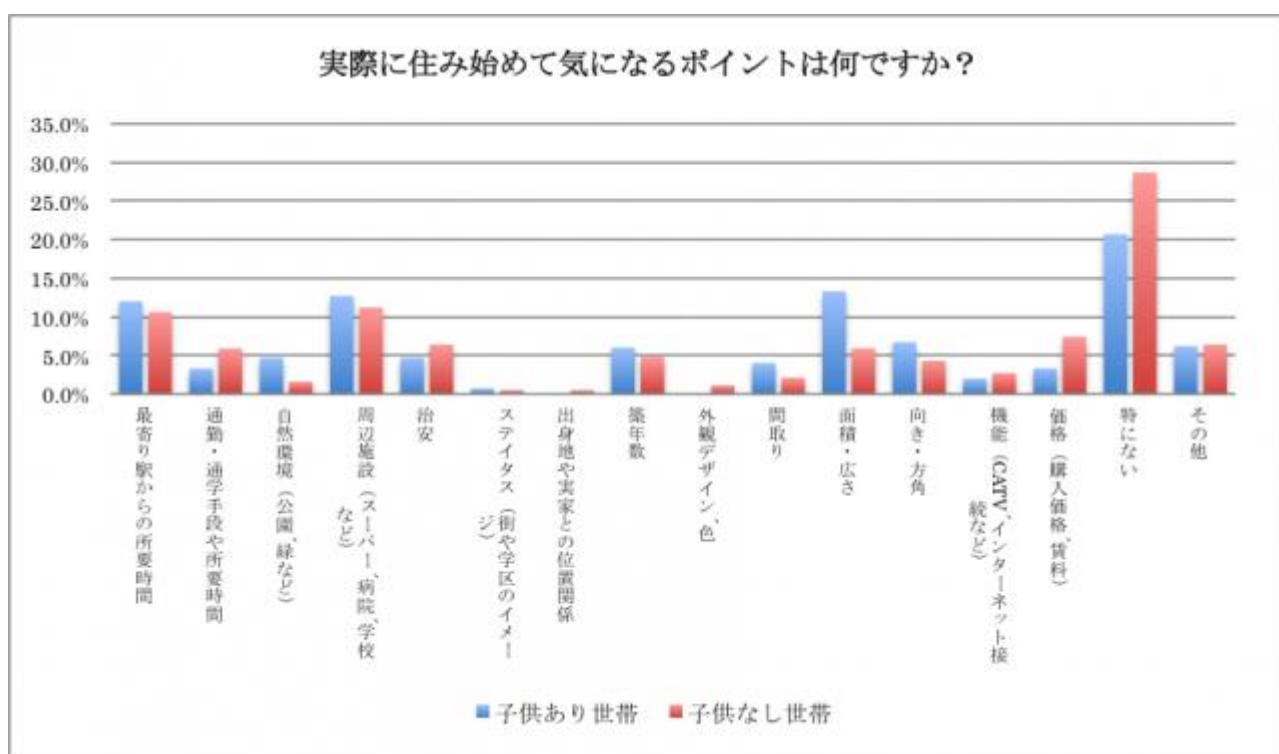
「徒歩圏内で色々用事を済ませられるようにしたかったから。(36歳女性)」

子供あり世帯と子供なし世帯の、ランキング TOP5 は全く同じという結果に。しかし、その内訳に違いがあるようです。

子供あり世帯は第1位の「最寄り駅からの所要時間」20.0%に比べ、子供なし世帯では27.1%と、子供なし世帯の方が比率が高め。第2位以降の「価格」「間取り」「通勤・通学手段と所要時間」「周辺施設」では、両方で比率にそこまでの大差はないものの、全ての項目で子供あり世帯が子供なし世帯を上回っています。

子供がいることで、「最寄り駅からの所要時間」以外の項目を考慮する必要があるため、子供あり世帯では比率が分散されたのかもしれませんが。

Q2「実際に住み始めて気になるポイントは何ですか？」



実際に住み始めて気になるポイントの調査結果

◆子供あり世帯ランキング TOP5

第1位 特にない (20.7%)

第2位 面積・広さ (13.3%)

第3位 周辺施設 (12.7%)

第4位 最寄り駅からの所要時間 (12.0%)

第5位 向き・方角 (6.7%)

◆子供なし世帯ランキング TOP5

第1位 特になし (28.7%)

第2位 周辺施設 (11.2%)

第3位 最寄り駅からの所要時間 (10.6%)

第4位 価格 (7.4%)

第5位 治安 (6.4%)

<子供あり世帯回答例>

・面積・広さ

「家族が増えたから。(32歳女性)」

「子供が増えて狭くなった。(33歳男性)」

「子供が大きくなると狭いので。(47歳女性)」

・周辺施設

「近くに病院が少ない。(35歳女性)」

「買い物はほぼ毎日なので近い方が良い。(31歳女性)」

・最寄り駅からの所要時間「出かけた際、特に子供連れだと駅からの距離が近いと助かる。(45歳男性)」

「毎日に関わることだから。(43歳男性)」 「思ったより距離があったから。(31歳男性)」

・向き・方角

「夏は西日が暑いから。(38歳男性)」

「陽当たりがよくない。(58歳男性)」

<子供なし世帯の回答例>

・周辺施設

「近所のスーパーが閉店したことや、休日夜間に診察してくれる病院が少ない。(48歳男性)」

「日常の買い物がやや不便。(45歳男性)」

・最寄り駅からの所要時間

「意外に遠いから。(44歳男性)」

「思ったより距離があったから。(31歳男性)」

・価格

「もう少し家賃が安いのがあったかなと思うようになった。(37歳女性)」

「家賃が他の地域の同スペックのものに比べて割高だと感じたため。(32歳女性)」

・治安

「近くで物騒な事件が起こったので。(31歳女性)」

「深夜の帰宅時などは治安が良い方がいい。(40歳男性)」

子供あり世帯も子供なし世帯も第1位は「特にない」でしたが、子供あり世帯は子供なし世帯ではランキング外の「面積・広さ」が13.3%で第2位にランクイン。”入居後に家族が増えた”、”子供の成長に伴い狭くなった”といった回答が多く見られ、子供あり世帯だからその悩みだと言えるでしょう。

一方の子供なし世帯では、第2位「周辺施設」11.2%、第3位「最寄り駅からの所要時間」10.6%と、利便性について気になる方が多いようです。「周辺施設」や第5位の「治安」6.4%については、入居時には想像できなかった問題が生じる可能性がある項目なので、あらかじめ予測することが難しい部分でもあります（近くのスーパーが閉店してしまった、近くで物騒な事件が起きた、など。）

実際住んでみて初めて気づくポイントは、子供の成長や家族構成の変化とともに変わる子供あり世帯に比べ、子供なし世帯では突発的な事柄によって左右される傾向にあるようです。

□まとめ

子供の有無にかかわらず、共通して重視されているポイントは「最寄り駅からの所要時間」。どのようなライフスタイルで過ごす方でも、物件選びの判断軸は「利便性」がとても重要なポイントだと考えられます。

しかし一方で、「利便性」を選択した人の比率を比較すると、子供がいる世帯よりもいない世帯の方が高い傾向にあります。子供がいる世帯では「利便性」のほかに、「住環境・住空間」といった項目もとても重要になり、物件選びの軸が多様になることで両者に違いが生じていると考えられます。

また、子供がいる世帯では居住後の”子育て”という観点が加味され、親族との位置関係や家族構成の変化を見越した、長期的な視点で住まいを考える傾向にあるようです。